

令和6年度 養父市立高柳小学校だより

# たかやなぎ



学校HP



No.4

令和6年5月31日

## 《 第1回学校運営協議会を開催しました 》

5月24日、第1回学校運営協議会を開催しました。自治協議会や民生児童委員、PTAを代表して7名の皆様にご参加いただき、教職員代表と年3回程度の会議を開催します。この日の会議では、校長より今年度の学校経営についての説明を行い、承認していただきました。「学校経営方針」につきましては、学校HPに掲載しておりますのでご覧ください。

その後、地域活動・学習支援・見守り活動の3チームに分かれて協議を行いました。地域活動チームは、3年生の田植え・稲刈りの際、ボランティアの参加についてコーディネートしていただきます。また、今年度よりこれまで自治協主催で実施していたしめ縄飾り教室を3年生の環境体験の一貫として学校と自治協が連携して行います。その際にもお世話になります。学習支援チームでは、読書ボランティアへの新メンバーや、家庭科でミシン実習を行う際の補助、書写の書き初めの指導をお願いできる方をコーディネートしていただきます。ご協力いただけます方は学校までお問い合わせください。見守り活動チームからは、バス通学が始まり、国道の歩行や横断歩道の渡り方に不慣れな児童が増えているのではないかという意見が出されました。ヘルメットをかぶらずに自転車に乗っている児童がいるとの話も出ていました。学校でも引き続き指導を行っていきます。保護者、地域の皆様にも、指導や声かけをお願いいたします。委員の皆様には1年間大変お世話になります。よろしく願いいたします。

6月2日(日)、全地区一斉のクリーン作戦が行われます。小学生も積極的に参加してほしいと思います。ぜひ、お子様と一緒にご参加ください。

## 《 「ねるねるウィーク」へのご協力ありがとうございました 》

5月8日～16日は「ねるねるウィーク」でした。これは、子どもたちが心も体も元気に過ごせるよう、自身の睡眠のリズムを知るため「睡眠日記」をつける取組です。成長期の子どもたちにとって、脳の発育・発達のためには十分な時間と深さの睡眠が必要です。そのため、小学校では、1～3年生は夜9時まで、4～5年生は夜10時まで寝ること、夜9時以降はノーメディアを推奨しています。また、睡眠のリズムを崩さないよう、休日も平日も同じぐらいの時刻に寝て起きることを心がけてほしいです。今回の取組では、今まではお家の人に起こしてもらっていた子が、「自分で目覚まし時計をセットして起きる」という目標を立てて実践するなど、意欲的に取り組む姿が見られました。お家の方の感想からも見守りや声かけなど熱心に取り組んでいただいた様子が伝わってきました。ご協力ありがとうございました。「ねるねるウィーク」が終わっても睡眠のリズムを崩さず生活できるよう、引き続きご支援よろしく願いいたします。



## 《 お話広場 》

5月9日、今年度最初のお話広場が行われました。8名の読書ボランティアの皆様にお世話になり、月に1回、各教室で色々な本を読んでもらいます。1年生教室は「ぶたのたね」という楽しい絵本の読み聞かせでした。時には笑いも起こりながら、最後まで真剣に聞き入る姿が見られました。読み聞かせには、心が安定する、想像力が育まれる、言語能力が高まる、集中力が上がるといった効果があるとされます。子どもたちも毎回、とても楽しみにしています。1年間よろしくお祈りします。



## 《 ボトリンピック 》

5月15日、縦割り班対抗ボトリンピックを行いました。ペットボトルを投げ、1回転させてから立つと成功というゲームです。3分間交代で投げ続け、2回戦で合計何個立てられたかで競いました。1年生から6年生まで体力に関係なく競えるのがこのゲームの良いところです。うまく立つと大きな歓声が上がっていました。今回の結果は1位7班で、25回立てることができました。ペットボトル1個で簡単にできるので、ご家庭でもチャレンジされてみてはいかがでしょうか。全校生で楽しい時間を過ごすことができました。



## 《 4年生福祉学習 》

5月17日、4年生が福祉学習の初回として、養父市社会福祉協議会より講師を迎えてオリエンテーションを行いました。社協の様々な取組や福祉の意味について学びました。「ふくし」は**ふだんのくらしのしあわせ**であり、誰もが幸せに暮らせること、そして互いに相手のことを知ろうとする気持ちが大切であるという内容でした。ちょうど神戸では世界パラ陸上競技選手権大会が開催されていました。これから色々な体験をしながら学習を重ね、自分の身近なこととしてしっかりと考えてほしいと思います。



## 《 4年生朝倉山椒収穫体験 》

5月20日、4年生が地域の生産者の方にお世話になり、朝倉山椒の収穫体験を行いました。徳川家康に献上されたという記録があり、当時庶民の口にはなかなか入らなかったとか。給食にも使われ、つい先日も「魚の朝倉山椒焼き」として提供されるなど、子どもたちにとって身近な食材です。収穫の仕方を教えていただき、房をハサミで切っていくと辺りに山椒の爽やかな香りがあふれました。生で食べてみるチャレンジャーもいました。お土産までいただき、大喜びの子どもたちでした。ありがとうございました。



## 《 5月の草庵先生の教え 「学は自得せんことを要す」 》

5月の生活目標は「学は自得せんことを要す」でした。意味は、「学ぶということは、頭で理解するよりも体を通して理解し、心で納得することが大事である」ということです。高柳小学校では「あいさつ」に取り組みました。各学年では「1年：相手を見て明るく元気な声であいさつする。2年：相手に聞こえる声で優しく言う。3年：おはよう、さようならを大きな声で言う。動きを止めて、(授業の)始めましょう、終わりましょうのあいさつをする。4年：自分から人の顔を見て大きな声であいさつをする。5年：相手より先にあいさつをする。相手に聞こえるようにあいさつをする。6年：みんなの心が明るくなるようにあいさつする。(大きな声、元気な声、自分から、笑顔で、相手の顔を見て)」という目標を考え、取り組みました。元気なあいさつのできる子も増えてきましたが、まだ声の小さい子もいます。あいさつが大切であることは子どもたちもよく分かっています。あいさつをしても、されても気持ちがよいことを実感し、あいさつをすることが当たり前になってほしいと思います。学校だけでなく、家庭でも地域でも気持ちのよいあいさつをしてほしいです。

